

国消国産

令和7年7月17日の給食

国産小麦パン



八王子市の学校給食は、できるだけ地元産、または国産の食材を使うようにしています。

それは、環境負荷の低減などSDGsの趣旨に添うことであるとともに、国内の農業を守り、食料自給率を向上させることにもつながるからです。

日本では
小麦の自給率は、
わずか18%です。

82%は

外国からの輸入に

頼っています。

★ パンネのペペロンチーノ

☺ 八王子産キャベツ使用

★ 牛乳

★ 白身魚のハーブ焼き

★ 手作り苺ジャム

★ コンソメスープ

☺ 八王子産にんじん、玉ねぎ、
キャベツ、じゃがいも使用

★ 国産小麦食パン

25.7.16製造70g
25.7.17賞味期限



国消国産



国産のものを

消費することが、

どのような効果を

生むか考えて

みましょう。

12

つくる責任
つかう責任



国消国産とは、その国の国民が必要とし、消費する食料は、できるだけ自国で生産することを言います。

国消国産に努めると… ①

国内で作られた食べ物を国内で食べることは、輸入する場合に比べて輸送する際のエネルギーを減らすことができ、環境負荷の低減、CO₂の排出抑制につながります。

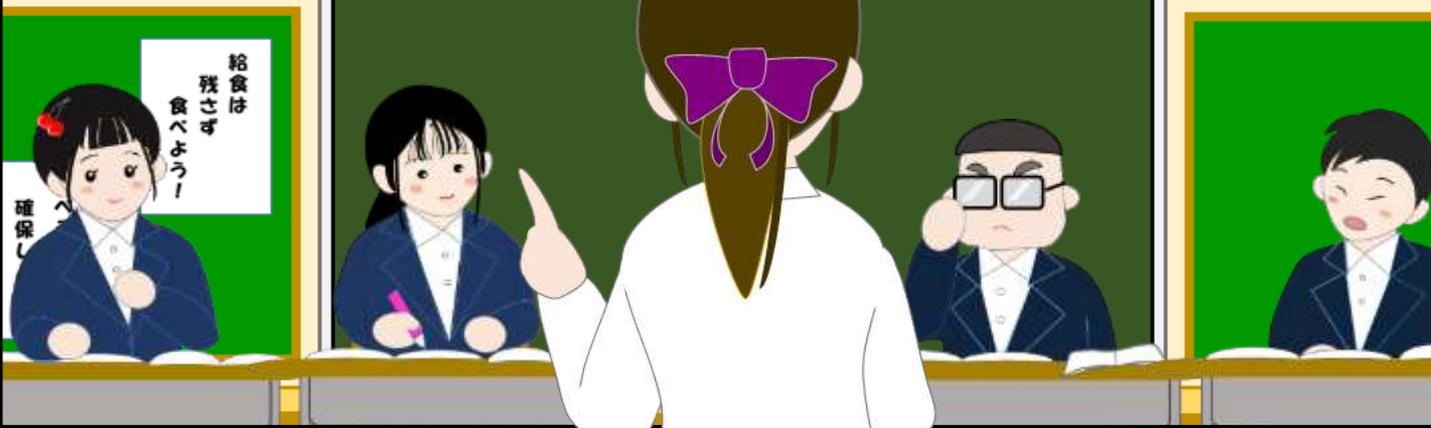
7

エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



13

気候変動に
具体的な対策を



給食は
残さず
食べよう！

確保し



国消国産に努めると… ②



良い食糧を自国で生産するためには、国内の環境を良い状態に保つ必要があります。

このことは、陸の資源や海洋資源の保護、また、国内産業の存続、活性化にもつながります。



国消国産に努めると… ③

私たち1人1人が、国産食材を購入するように努め、国産のものが安定して売れるようになれば、生産基盤の維持・拡大や次世代の担い手の確保につながります。生産も安定するので、食料自給率の向上を期待することができます。



現在の日本の食料自給率は38%。他の国と比べて、とても低い値となっています。

食料自給率が低いということは、食料の多くを輸入に頼るということにほかなりません。



もし、輸入元の国や輸送経路で何かが起きて輸入がストップすれば、食料不足や物価高騰など、私たちの食生活は、大きな影響を受けることになってしまいます。

なので、食料自給率を上げることが、とても重要なのです。





私たち消費者が、国産の食品を積極的に購入することは、生産力を向上させることができる可能性を持っています。

食品を選ぶ際には、地産地消、国消国産を意識してみましょう。



今日の給食は、国産小麦100%のパンを食べます。

小麦は、特に食料自給率を上げるためには、一つです。

私たちができることを考え、取り組んでいきましょう！

